

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	木田余神立線／神立停車場線街路事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
432,000	212,400	156,400		63,200	・補償補填及び賠償金 260,412 ・公有財産購入費 153,759 ・役務費 15,089 ・工事請負費等 2,740			

【事業の目的】

木田余地区土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場前）までの区間が完了し、引き続き残りの未整備区間を事業化し、市北部地域における円滑な交通動線を確保することで、南北軸の強化を図ります。

また、神立駅西口地区土地区画整理地から、かすみがうら市との行政界までの道路の整備により、交通動線の確保と快適な道路環境の形成を図ります。

【事業の概要】

◎木田余神立線街路事業（Ⅱ期） 167,000千円

①全体整備延長 L=328m, 幅員 W=12m

②事業年度 平成24～31年度

③平成27年度事業 用地買収（60,000千円） 補償（100,000千円）
 防護柵設置工事（300千円） 役務費等（6,700千円）

◎神立停車場線街路事業 265,000千円

①全体整備延長 L=287m 幅員 W=22m

②事業年度 平成23～29年度

③平成27年度事業 用地買収（93,759千円） 補償（160,412千円）
 防護柵設置工事（776千円） 役務費等（10,053千円）



【期待される効果】

中心市街地及び市北部地域の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

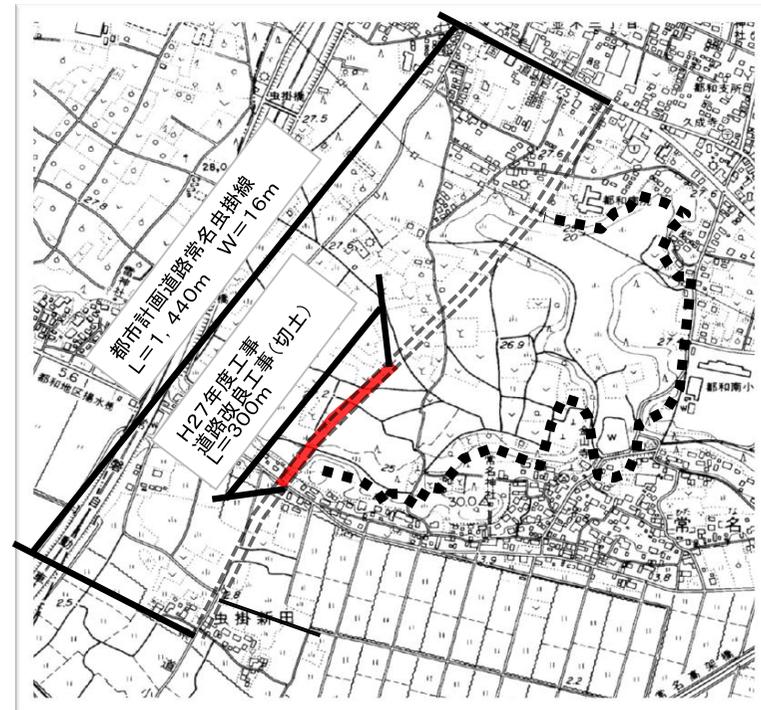
款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	常名虫掛線街路事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
256,000	84,500	76,000		95,500	・工事請負費	224,360		
					・補償補填及び賠償金	29,000		
					・委託料	1,500		
					・役務費等	1,140		

【事業の目的】

常名地内の旧国道125号から虫掛地内の県道小野土浦線までの区間を整備し、常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

【事業の概要】

- ◎常名虫掛線街路事業 (256,000千円)
 - ①全体整備延長 L=1,440m, 幅員 W=16m
 - ②事業年度 平成22~29年度
 - ③平成27年度 道路改良工事(224,360千円)
補償(29,000千円) 委託料(1,500千円)
役務費等(1,140千円)



【期待される効果】

常名・虫掛地区を連絡する幹線道路が整備されることで、中心市街地と並木地区を結ぶ新たな交通ネットワークが構築され、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上につながります。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》				
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
456,000	171,500	267,500		17,000	・工事請負費 451,073 ・委託料 2,646 ・需用費等 2,281

【事業の目的】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、本市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

【事業の概要】

- ◎真鍋神林線延伸道路整備事業 456,000千円
 - (1)全体整備延長 L=1,320m, 幅員 W=12~15m
 - (2)事業年度 平成24~27年度
 - (3)平成27年度 改良・舗装工事等 451,073千円
 - 測量委託料 2,646千円
 - 需用費等 2,281千円



【期待される効果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。また、本路線に隣接する区域に新消防庁舎の建設を進めており、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセス向上を図ることができます。

さらに、県道小野土浦線を経由して、市道虫掛66号線、新治南314号線及び整備中の都市計画道路「常名虫掛線」に接続することにより、真鍋地区と藤沢地区、並木地区を結び、本市の広域的な地域間連携の強化を図ることができます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
477,000	233,500	229,300		14,200	・工事請負費	372,856	・公有財産購入費	84,329
					・補償補填及び賠償金	7,294	・役務費等	12,521

【事業の目的】

おおつ野地区と神立駅東地区を結ぶ幹線道路を整備し、市北東地域における南北方向の道路網強化を図ります。

【事業の概要】

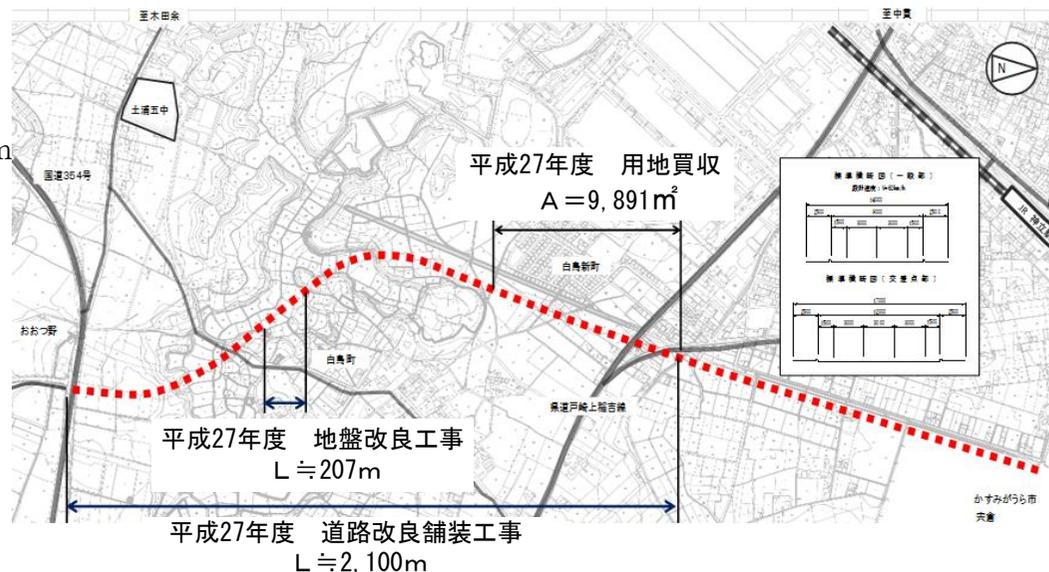
◎田村沖宿線延伸道路整備事業 477,000千円

- (1) 全体整備延長 L=2,900m
 (I期) 2,100m (II期) 800m
 幅員 W=14m

- (2) 事業年度 平成24～27年度 (I期)

- (3) 平成27年度事業

道路改良工事	372,856千円
用地買収	84,329千円
補償	7,294千円
役務費等	12,521千円



【期待される効果】

市北東地域の交通渋滞が緩和され、南北方向の道路網が強化されるとともに、本路線に隣接するおおつ野地区に総合病院移転が進められている中で、神立駅方面からのアクセス向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	荒川沖木田余線整備事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
85,000	46,750	34,400		3,850	・公有財産購入費	50,000		
					・委託料	35,000		

【事業の目的】

土浦駅周辺市街地の内外環状道路として国道6号を補完する役割を担い、かすみがうら市や牛久市方面へ連絡する重要な幹線道路である荒川沖木田余線の4車線化を進め、交通渋滞の解消を図ります。

【事業の概要】

平成17～18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」の中で、効率的な道路整備を進めるために優先整備路線の選定を行い、本路線の3車線（幅員18m）の区間を再整備が必要な路線として位置付けました。これを受けて、平成25年度に幅員変更の都市計画変更を行い、平成26年度から事業に着手しており、早期の4車線化を目指します。

◎荒川沖木田余線（I期）事業

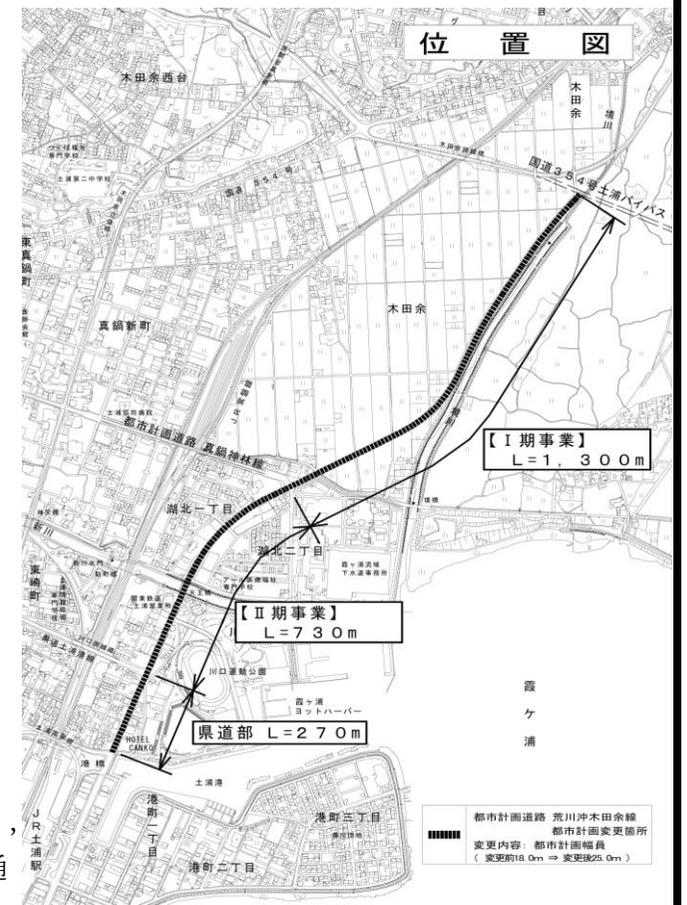
延長 L=1,300m 幅員 W=18m(3車線)→25m(4車線)に拡幅整備

(単位：千円)

事業内容	予算額
詳細設計	9,000
用地測量	26,000
用地買収	50,000
合計	85,000

【期待される効果】

ボトルネックとして交通渋滞の要因となっている3車線区間を4車線化することにより、市内の道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるほか、通過交通の排除により、市街地の交通混雑緩和、安全性の向上が期待できます。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅北通り線整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
40,797	22,110	16,600	411	1,676		・工事請負費	35,400	
						・委託料	5,295	
						・旅費等	102	

【事業の目的】

土浦駅北通り線のうち，土浦駅前北地区市街地再開発事業で整備する区域から北側80mの区域について，再開発事業に合わせて拡幅整備することで，歩行者動線を確保しながら車両と歩行者の通行を分離し，駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出すことを目的とします。

【事業の概要】

◎ 土浦駅北通り線整備工事 35,400千円
(平成27～29年度継続費 総額79,649千円)

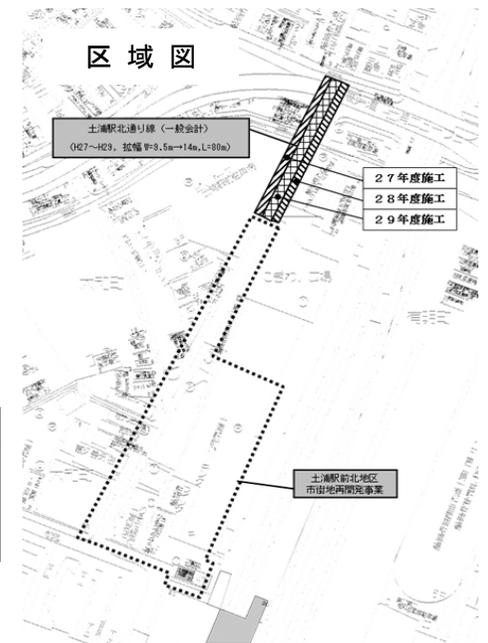
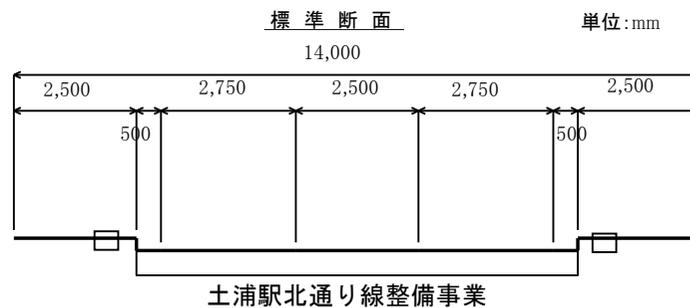
・道路拡幅整備

L=80m, W=14m (9.5m→14m, 両側歩道2.5m)

・電線共同溝

小型トラフ 410mm×240mm L=124m

◎ 電線地中化工事委託 5,228千円



【期待される効果】

道路の拡幅整備に伴い，両側に歩道が整備されるとともに無電柱化が図られることから，来街者の安全性や利便性向上に加えて，駅前にもふさわしい街並み景観の向上にも寄与します。

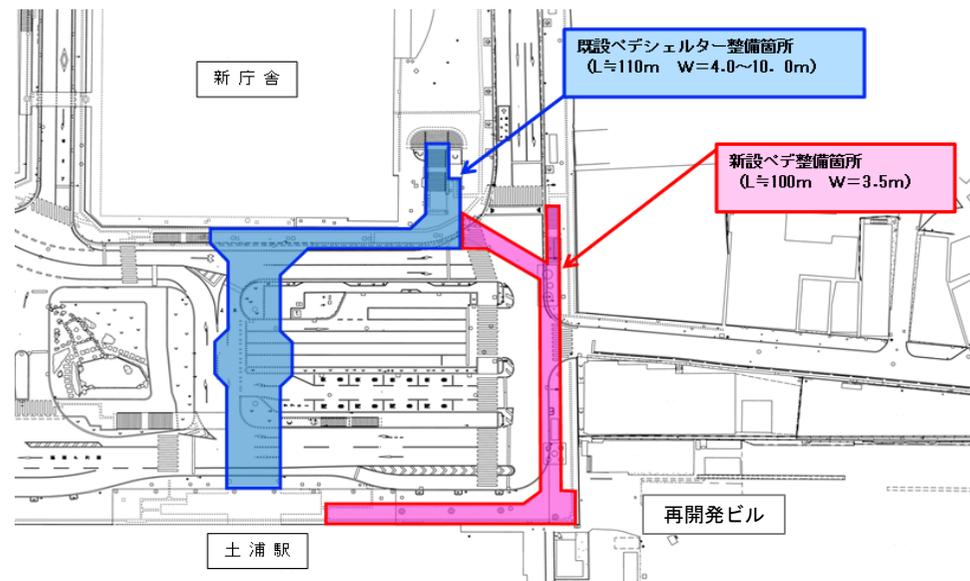
款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
478,388	211,200	236,400		30,788	・工事請負費 473,939 ・補償補填及び賠償金 4,342 ・旅費等 107			

【事業の目的】

新図書館等の公共施設が入る再開発ビルと新庁舎との連絡を強化するため、既存のペDESTロリアンデッキとの連結整備を行うことにより、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出すことを目的とします。

【事業の概要】

- ◎ ペDESTロリアンデッキ整備工事 473,939千円
 (平成26～28年度継続費 総額987,355千円)
 - ・新設ペDESTロリアンデッキ
 (基礎工5基, 下部工5基, 桁架設工, 階段工等)
- ◎ 補償補填及び賠償金 4,342千円
 - ・ペルチ土浦避難器具改修補償



土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業

【期待される効果】

駅前周辺が歩行者デッキで結ばれるとともに歩車道の分離が図られることから、市民生活の利便性や快適な回遊性に加えて、駅前広場を利用する車両や歩行者の安全性が向上し、にぎわい空間の創出にも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	まちなか定住促進支援事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
16,188	8,000			8,188	・負担金補助及び交付金 16,000 ・使用料及び賃借料等 188			

【事業の目的】

中心市街地活性化基本計画に基づき，質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため，中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により，居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を目的とします。

実施期間：平成26～30年度

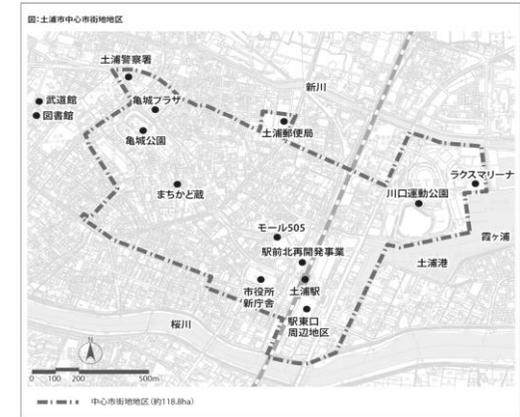
【事業の概要】

- ①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 10,000千円
中心市街地エリア内の住宅を建て替える者又は住宅を購入する者に対して，借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ②まちなか賃貸住宅家賃補助 6,000千円
本市外から中心市街地に住み替える世帯のうち，新婚世帯又は子育て世帯に対して，家賃の1/2（上限2万円）を補助します。

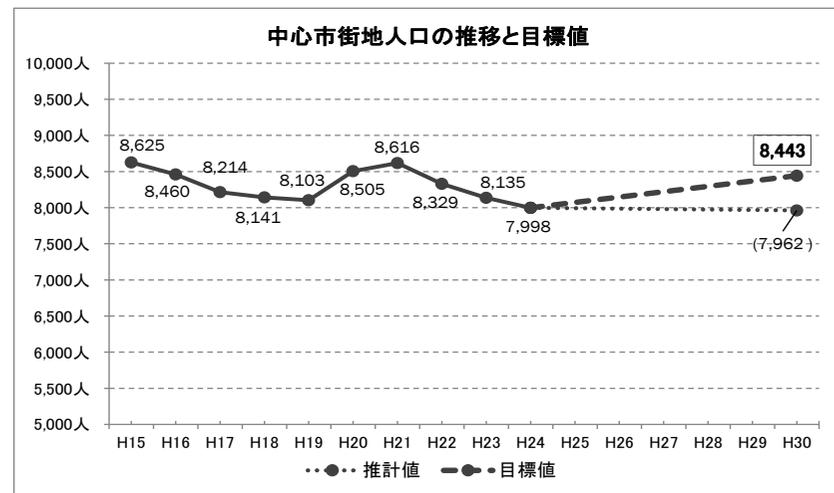
【期待される効果】

居住人口の増加により，中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。

◎中心市街地居住人口と目標値：
平成24年度 7,998人 → 平成30年度 8,443人



中心市街地のエリア



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	中央一丁目地区まちづくり事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・委託料 1,500			
1,500				1,500				

【事業の目的】

中心市街地活性化基本計画に位置付けた「中央一丁目地区まちづくり事業」を推進することにより、「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」の実現を目指します。

【事業の概要】

暮らしやすい集約型都市構造への転換のため，中心市街地の交流拠点として，民間活力を生かした施設の導入を促進します。

- ・事業手法・事業スキームの検討
- ・民間活力導入の可能性の検討 等

【期待される効果】

都市機能が集積する土浦駅前と，歴史的まちなみが残る亀城公園地区の中間という立地を生かした交流拠点として，回遊性の向上に寄与します。



中央一丁目地区 位置図

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦港周辺広域交流拠点整備事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
2,701				2,701	・委託料		2,500	
					・報償費等		201	

【事業の目的】

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間として整備し、水辺のにぎわい創出を図ります。

【事業の概要】

(単位：千円)

事業内容	事業費
◎川口二丁目地区官民連携導入条件調査 関連事業の整理、民間事業者の意向把握を進め、民間との連携事業の可能性の検証を行う。	2,500
◎川口二丁目地内暫定広場の活用等 継続的なにぎわいにつなげるため、平成26年度に実施した川口二丁目地区筑波大学学生提案（作品展示等）を活用する。	201
合計	2,701

【期待される効果】

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦を生かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。



川口二丁目地区の開発イメージ

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	川口田中線街路事業				
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
111,000		92,800		18,200	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 85,917 ・補償補填及び賠償金 13,500 ・公有財産購入費 7,300 ・委託料等 4,283

【事業の目的】

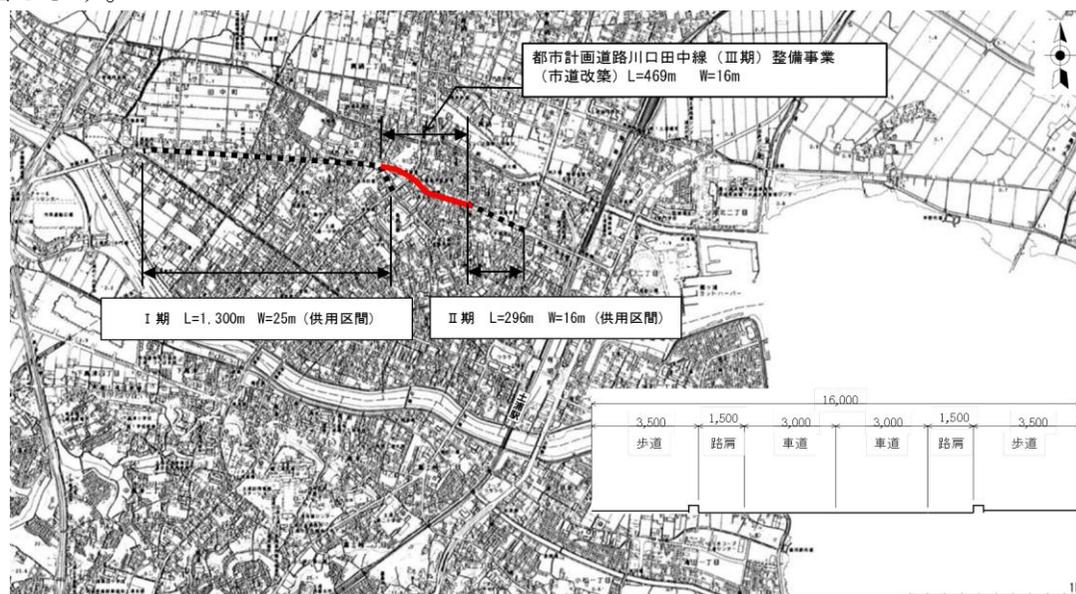
本路線は、本市の中心市街地の骨格となる市街地環状道路として位置付けされており、市街地の東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、Ⅰ期・Ⅱ期事業区間は、既に供用開始しています。

本事業では、未整備区間を整備し、全区間の開通を目指します。

【事業の概要】

- ◎川口田中線街路事業(Ⅲ期) 111,000千円
 - ①全体整備延長 L=469m, 幅員 W=16m
 - ②事業年度 平成21~27年度
 - ③平成27年度事業

用地買収	7,300千円
補償	13,500千円
交差点改良工事等	85,917千円
委託料等	4,283千円



【期待される効果】

都市基盤である都市計画道路の整備によって、円滑な交通動線の確保と快適な道路環境を形成することにより、都市機能向上を図るとともに、防災に強いまちづくりにも寄与します。

款	土木費	項	住宅費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	住宅リフォーム助成事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
17,260	8,500			8,760	・負担金補助及び交付金 17,000 ・使用料及び賃借料 260			
<p>【事業の目的】</p> <p>市内の居住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市民が市内施工業者を利用して個人住宅のリフォーム工事を行う場合に、市がその経費の一部を助成するものです。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>平成27年度は、助成金の総額を1,000千円増額した17,000千円として実施します。</p> <p>◎助成対象住宅 市民自らが所有し、居住している個人住宅（ただし、併用住宅等は居住部分のみで、塀は対象外）</p> <p>◎助成対象工事 市内の施工業者を利用して行う10万円以上のリフォーム工事</p> <p>◎助成額 助成対象となる工事費用の10%を助成（ただし、1件当たりの助成限度額は、10万円）</p> <p>※平成26年度実績</p> <p>申請受付期間 平成26年5月1日（木）～平成26年9月25日（木）</p> <p>助成金額 15,997千円（平成26年度予算額16,000千円）</p> <p>助成件数 196件</p> <p>助成対象となった工事費 271,127千円</p> <p>【期待される効果】</p> <p>リフォーム工事に対する助成を行うことで、市民の負担軽減に寄与し、さらに市内の施工業者を利用することで、地域経済の活性化が図られます。</p>								